

平成12年基準 消費者物価指数（大津市）

平成17年度（2005年度）平均

概況

大津市の平成17年度平均の消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で98.2となり、前年度と比べると0.1%上昇した。

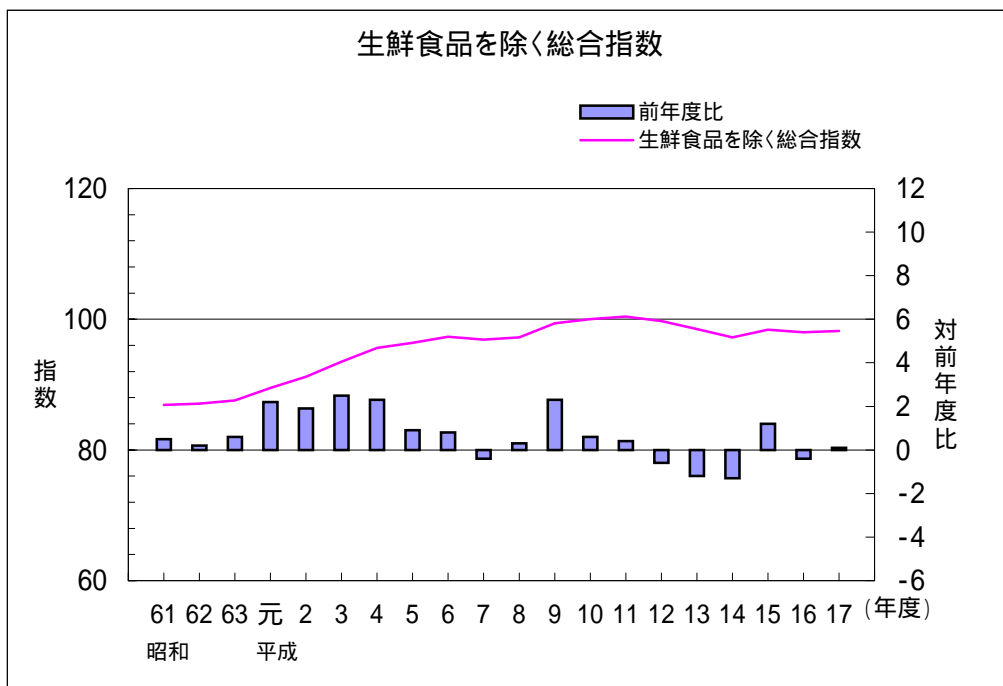
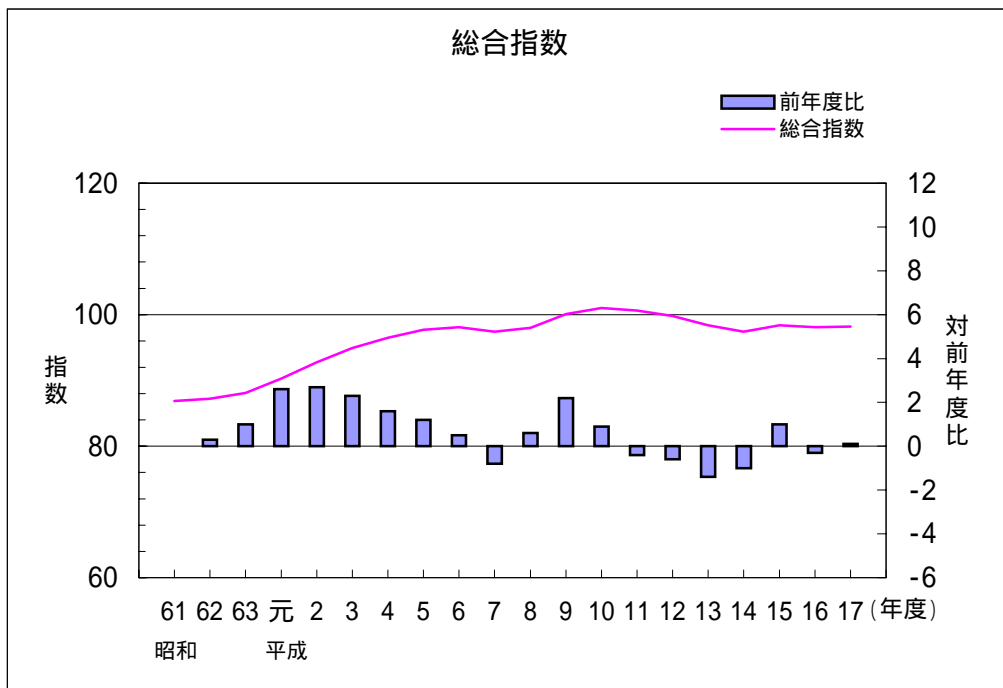
生鮮食品を除く総合指数も98.3となり、前年と比べると0.3%上昇した。

近年の総合指数の動き

総合指数の対前年度上昇率をみると、平成12年度は、外食や生鮮食品をはじめとする食料が値下がりしたことや、洋服などの衣料が値下がりしたことなどにより0.6%下落した。平成13年度は、住居や食料が値下がりしたことなどにより1.4%下落した。平成14年度は、住居や教養娯楽が値下がりしたことなどにより1.0%下落し、生鮮食品を除く総合指数についても1.3%下落した。平成15年度は、家賃が値上がりしたことなどにより1.0%上昇し、生鮮食品を除く総合指数も1.2%上昇した。

昭和46年度以降初めてであった総合指数の4年度連続下落、および生鮮食品を除く総合指数の3年度連続下落から一転、平成15年度には、総合指数および生鮮食品を除く総合指数ともに上昇した。しかし、平成16年度に家具・家事用品が値下がりしたことなどにより、再び下落に転じ、総合指数は0.3%、生鮮食品を除く総合指数は0.4%と、それぞれ下落した。

平成17年度は、交通・通信、被服および履物などが値上がりしたことにより、総合指数については0.1%上昇し、生鮮食品を除く総合指数については0.3%上昇した。



費目別指数の主な動き

食料

食料は97.6で、生鮮野菜が6.2%下落したことなどにより、前年度平均に比べて0.8%下落した。

住居

住居は99.4で、設備修繕・維持が1.6%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて0.1%上昇した。

光熱・水道

光熱・水道は100.3で、他の光熱が24.9%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて0.1%上昇した。

家具・家事用品

家具・家事用品は90.5で、寝具類が4.2%下落したことなどにより、前年度平均に比べて1.7%下落した。

被服および履物

被服および履物は99.2で、洋服が4.1%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて2.1%上昇した。

保健医療

保健医療は100.5で、保健医療用品・器具が0.6%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて0.4%上昇した。

交通・通信

交通・通信は99.8で、自動車等関係費が3.6%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて1.1%上昇した。

教育

教育は109.7で、授業料等が2.2%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて1.4%上昇した。

教養娯楽

教養娯楽は91.3で、教養娯楽用耐久財が9.8%下落したことなどにより、前年度平均に比べて0.5%下落した。

諸雑費

諸雑費は99.6で、理美容用品が0.6%上昇したことなどにより、前年度平均に比べて0.7%上昇した。

平成12年=100

		総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服および履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合
指数	平成16年度	98.1	98.4	99.3	100.2	92.1	97.2	100.1	98.7	108.2	91.8	98.9	98.0
	平成17年度	98.2	97.6	99.4	100.3	90.5	99.2	100.5	99.8	109.7	91.3	99.6	98.3
前年度比(%)	平成16年度	-0.3	-0.2	-0.2	0.2	-4.5	1.3	-2.2	-0.1	4.1	-1.4	-1.5	-0.4
	平成17年度	0.1	-0.8	0.1	0.1	-1.7	2.1	0.4	1.1	1.4	-0.5	0.7	0.3